

COPY



ペリージョンソン ラボラトリー アクレディテーション インク

認 定 証

ペリージョンソン ラボラトリー アクレディテーション インクは、
下記の試験所を審査しました。

英弘精機株式会社

〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷 1-21-8

ここに本組織が、以下の認知された国際規格に基づき、認定されたことを証します。

ISO/IEC 17025:2017

本認定により、以下の範囲及び試験所品質マネジメントシステムの運営における技術的能力を
実証するものとします。(2017年4月発行 ISO-ILAC-IAF 共同コミュニケに準ずる)

液体の粘性試験 (詳細は付属書に記述)

上記試験及び/又は校正サービスに対する認定資格は本認定証内で言及された住所のみを対象とする。本認定は、
上記規格の認定を管理するシステム規定に従い授与され、組織はその規定を遵守し、認定機関の任務を尊重する
ことをここに誓約する。

PJLA

初回認定日
2013年5月8日

発行日
2023年7月3日

認定証有効期限
2025年7月31日

認定番号
74158

認定証番号
L23-505

トレーシー サーツェン
プレジデント

Perry Johnson Laboratory
Accreditation, Inc. (PJLA)
755 W. Big Beaver Rd., Suite 1325
Troy, Michigan 48084

この認定証の有効性は、持続された認定に基づく継続審査を通して維持されています。
PJLAウェブサイト (www.pjlab.com)でご確認いただけます。

尚、本認定証は日本語翻訳版であり、英文の認定証を正式のものとする。



COPY

認定証付属書

英弘精機株式会社

〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷 1-21-8

新井 武彦 Tel: 03-3469-6711

本認定を、上記組織の実施する下記試験について授与する。

試験分野	試験・測定対象 (品目、材料、製品)	試験の内容または 測定する属性	適用された仕様、基準 または手法	範囲および 検出限界
機械的 試験 ^F	液体	液体粘度	JISZ8803 9項に基づく 「回転粘度計試験作業指示書 (LM-06)」 回転粘度計 LV 型 回転粘度計 RV 型 回転粘度計 HA 型 回転粘度計 HB 型	測定範囲 1 mPa·s ~ 3.2×10 ⁶ mPa·s

1. 上付き文字“F”は、試験所が固定された位置で示されたパラメータの試験を実行することを意味している。
(例：“Outside Micrometer^F”は、試験所が固定された位置でこの試験を行うことを明確にしている。)

COPY



ペリージョンソン ラボラトリー アクレディテーション インク

認 定 証

ペリージョンソン ラボラトリー アクレディテーション インクは、
下記の試験所を審査しました。

英弘精機株式会社

〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷 1-21-8

ここに本組織が、以下の認知された国際規格に基づき、認定されたことを証します。

ISO/IEC 17025:2017

本認定により、以下の範囲及び試験所品質マネジメントシステムの運営における技術的能力を
実証するものとします。(2017年4月発行 ISO-ILAC-IAF 共同コミュニケに準ずる)

回転粘度計、直達日射計、全天日射計及び小型日射計の校正
(詳細は付属書に記述)

上記試験及び/又は校正サービスに対する認定資格は本認定証内で言及された住所のみを対象とする。本認定は、
上記規格の認定を管理するシステム規定に従い授与され、組織はその規定を遵守し、認定機関の任務を尊重する
ことをここに誓約する。

PJLA

初回認定日	発行日	認定証有効期限
2013年5月8日	2023年7月3日	2025年7月31日

認定番号
74158

認定証番号
L23-506

トレーシー サーツェン
プレジデント

Perry Johnson Laboratory
Accreditation, Inc. (PJLA)
755 W. Big Beaver Rd., Suite 1325
Troy, Michigan 48084

この認定証の有効性は、持続された認定に基づく継続審査を通して維持されています。
PJLA ウェブサイト (www.pjllabs.com) でご確認いただけます。

尚、本認定証は日本語翻訳版であり、英文の認定証を正式のものとする。



COPY

認定証付属書

英弘精機株式会社

〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷 1-21-8

喜多 実 Tel: 03-3469-6711

本認定を、上記組織の実施する下記校正について授与する。

機械的校正

校正を受けた計量機器 または計測器	範囲または必要に応じて 基準装置サイズ	不確かさとして表現 された校正測定能力(+/-)	使用された校正機器 および基準、規格
*回転粘度計LV型 スピンドル 61 タイプ ^F	6 mPa·s - 6 000 mPa·s	41 mPa·s	JISZ8803 9項に基づく 「回転粘度計校正作業 指示書(LM-03)」
*回転粘度計LV型 スピンドル 62 タイプ ^F	30 mPa·s - 30 000 mPa·s	200 mPa·s	
*回転粘度計LV型 スピンドル 63 タイプ ^F	120 mPa·s - 120 000 mPa·s	820 mPa·s	JISZ8809に基づく 粘度計校正用標準液
*回転粘度計LV型 スピンドル 64 タイプ ^F	600 mPa·s - 600 000 mPa·s	4 100 mPa·s	JS500 JS1000
*回転粘度計RV型 スピンドル 02 タイプ ^F	40 mPa·s - 40 000 mPa·s	300 mPa·s	JS2000 JS14000
*回転粘度計RV型 スピンドル 03 タイプ ^F	100 mPa·s - 100 000 mPa·s	750 mPa·s	JS52000 JS160000
*回転粘度計RV型 スピンドル 04 タイプ ^F	200 mPa·s - 200 000 mPa·s	1 500 mPa·s	B型回転粘度計
*回転粘度計RV型 スピンドル 05 タイプ ^F	400 mPa·s - 400 000 mPa·s	3 000 mPa·s	
*回転粘度計RV型 スピンドル 06 タイプ ^F	1 000 mPa·s - 1 000 000 mPa·s	7 500 mPa·s	
*回転粘度計HA型 スピンドル 02 タイプ ^F	80 mPa·s - 80 000 mPa·s	1 600 mPa·s	
*回転粘度計HA型 スピンドル 03 タイプ ^F	200 mPa·s - 200 000 mPa·s	4 000 mPa·s	
*回転粘度計HA型 スピンドル 04 タイプ ^F	400 mPa·s - 400 000 mPa·s	8 000 mPa·s	
*回転粘度計HA型 スピンドル 05 タイプ ^F	800 mPa·s - 800 000 mPa·s	16 000 mPa·s	
*回転粘度計HA型 スピンドル 06 タイプ ^F	2 000 mPa·s - 2 000 000 mPa·s	40 000 mPa·s	
*回転粘度計HB型 スピンドル 02 タイプ ^F	320 mPa·s - 320 000 mPa·s	6 400 mPa·s	
*回転粘度計HB型 スピンドル 03 タイプ ^F	800 mPa·s - 800 000 mPa·s	16 000 mPa·s	
*回転粘度計HB型 スピンドル 04 タイプ ^F	1 600 mPa·s - 1 600 000 mPa·s	32 000 mPa·s	
*回転粘度計HB型 スピンドル 05 タイプ ^F	3 200 mPa·s - 3 200 000 mPa·s	64 000 mPa·s	
*回転粘度計HB型 スピンドル 06 タイプ ^F	8 000 mPa·s - 8 000 000 mPa·s	160 000 mPa·s	



COPY

認定証付属書

英弘精機株式会社

〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷 1-21-8

喜多 実 Tel: 03-3469-6711

本認定を、上記組織の実施する下記校正について授与する。

光学的校正

校正を受けた計量機器 または計測器	範囲または必要に応じて 基準装置サイズ	不確かさとして表現 された校正測定能力(+/-)	使用された校正機器 および基準、規格
直達日射計 (屋外校正) ISO9060:2018 Class A ^F	700 W/m ² - 1 200 W/m ²	0.47 % (無単位)	WMO-No. 8:2018 及び ISO9059:1990 に基づく 日射計校正作業指示書 (2 項) (LM-10) 標準直達日射計 (MS-57) データロガー (CR1000X)
直達日射計 (屋内校正) ISO9060:2018 Class A ^F	700 W/m ² - 1 200 W/m ²	0.45 % (無単位)	WMO-No. 8:2018 及び ISO9847:2023 に基づく 直達日射計屋内校正作業指示書 (2 項) (LM-10A) 標準直達日射計 (MS-57) デジタルマルチメータ (34401A)
全天日射計 ISO9060:2018 Class A ^F	700 W/m ² - 1 400 W/m ²	0.49 % (無単位)	WMO-No. 8:2018 及び ISO9847:2023 に基づく 日射計校正作業指示書 (3 項) (LM-10) Class A: 標準全天日射計 (MS-802) 及び (MS-80) Class B: 標準全天日射計 (MS-60) Class C: 標準全天日射計 (MS-40) デジタルマルチメータ (34401A)
ISO9060:2018 Class B ^F		1.0 % (無単位)	
ISO9060:2018 Class C ^F		1.2 % (無単位)	
小型日射計 (ML-01), (ML-02) ISO9060:2018 Class C ^F	700 W/m ² - 1 400 W/m ²	1.5 % (無単位)	WMO-No. 8:2018 及び ISO9847:2023 に基づく 日射計校正作業指示書 (3 項) (LM-10) 標準小型日射計 (ML-01) デジタルマルチメータ (34401A)



COPY

認定証付属書

英弘精機株式会社

〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷 1-21-8

喜多 実 Tel: 03-3469-6711

本認定を、上記組織の実施する下記校正について授与する。

1. この認定範囲を含む校正に対して記載された CMC (校正測定能力) は、ほぼ理想的な条件下でほぼ理想的な機器をおおよそ定められた方法で校正している試験所であれば、達成しうる最小測定不確かさを表している。それは、包含係数 $k=2$ を用いて 95% の信頼水準で表される。校正されている機器の能力や性能及び校正に関連する条件は、適度にある程度理想から逸脱しうるので、試験所が行っている特定の校正に関する実際の測定不確かさは、通常同じ校正に対する CMC より大きい。
2. 校正を認定する場合、校正機関の校正能力の範囲は校正を実施する際に用いる参照標準、標準物質等の最小値から最大値に起因される。従って、校正範囲の最低下限は校正機関が入手できる最低到達可能値でなければならない。
標準がない場合、手順や方法によって校正された 0 (ゼロ) の値を検証することによって、“0 点は校正ではない” とする定義を避け、校正方法は手順に起因する。ただし、この場合、0 点の校正が全くできないとする定義は成立しないこともある。
3. 上付き文字 “F” は、試験所が固定された位置で示されたパラメータの校正を実行することを意味している。(例: “Outside Micrometer^F” は、試験所が固定された位置でこの校正を行うことを明確にしている。)

